

2014 年春季年会

# 年会プログラム

於 国際基督教大学

2014 年 3 月 19 日 (水) ~ 3 月 22 日 (土)

日本天文学会

# 日本天文学会 2014 年春季年会プログラム

期 日 2014年3月19日(水)～3月22日(土)

場 所 国際基督教大学(東京都三鷹市)

電 話 090-4387-6893 <使用期間 2014年3月19日(水)～3月22日(土)>

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19								
3月19日 (水)	A				受 付		A. r & G W	TMT 特別セッション (A会場)		ALMA 特別セッション (A会場)		理 事 会								
	B						C. 天文学史													
	C						U. 宇宙論													
	D						J1. 高密度星													
	E						V1. 地上観													
	F						T. 銀河団													
	G						Y. 教育・他													
	H						L. 太陽系													
	I						W2. 飛翔観													
3月20日 (木)	A	受付	A. r & G W	昼休み (代議員 総会)	ポスター	A. r & G W	会員 全体集会 (A会場)		受賞記念講演 (A会場)											
	B		C. 天文学史			N. 恒星														
	C		U. 宇宙論			Q. 星間現象														
	D		J1. 高密度星			J1. 高密度星														
	E		V1. 地上観			V1./V2. 地上観														
	F		P2. 星・惑星			P2. 星・惑星														
	G		Y. 教育・他/R. 銀河			R. 銀河														
	H		K. 超新星爆発			M. 太陽														
	I		W2. 飛翔観			W2./W1. 飛翔観														
3月21日 (金)	A	受付	B. A L M A	昼休み	ポスター	B. A L M A	天文教育 フォーラム (A会場)		懇 親 会											
	B		N. 恒星			X. 銀河形成														
	C		Q. 星間現象			Q. 星間現象														
	D		J1./J2. 高密度星			J2. 高密度星														
	E		V2. 地上観			V2. 地上観														
	F		P2./P1. 星・惑星			P1. 星・惑星														
	G		R. 銀河			S. 活動銀河核														
	H		M. 太陽			M. 太陽														
	I		W1. 飛翔観			W1. 飛翔観														
	J					ジュニアセッション														
	3月22日 (土)		A			受付						B. A L M A	昼休み	ポスター	X. 銀河形成					
B		X. 銀河形成	X. 銀河形成																	
C		Q. 星間現象																		
D		J2. 高密度星																		
E		V2. 地上観																		
F		P1. 星・惑星																		
G		S. 活動銀河核	S. 活動銀河核																	
H		M. 太陽	M. 太陽																	
I		W1. 飛翔観	W1. 飛翔観																	
J					ジュニアセッション															
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19								

A会場: 理学館 2F (N220)

B会場: 本館 1F (H116)

C会場: 本館 2F (H213)

D会場: 本館 2F (H262)

E会場: 本館 2F (H260)

F会場: 本館 3F (H304)

G会場: 本館 3F (H315)

H会場: 本館 3F (H367)

I会場: 本館 3F (H364)

J会場: D館 1,2F オーディトリウム

受 付: 本館 2F ロビー

ポスター会場: 本館 1～3F (H152～H352)

展示コーナー: 本館 2F (H251)

会 議 室: 理学館 2F (N203)

懇 親 会: ダイアログハウス 1F 大学食堂

## ◎講演数

講演数：合計 721

(口頭講演 (a)：481、ポスター講演 (b)：170、ポスター講演 (c)：70)

## ◎参加登録について (参加者は、当日必ず参加登録をしてください。)

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になっています。

### ○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	3,000 円 (不課税)	5,000 円 (消費税込み)
(但し講演ありの場合、参加費は無料)		
講 演 登 録 費	3,000 円 (不課税)	10,000 円 (消費税込み) (1 講演につき)
年 会 予 稿 集	2,000 円 (消費税込み)	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)

○参加登録受付場所：受付 (本館 2F ロビー)

○参加登録受付時間：3月19日 11:00～16:00

3月20日 09:00～16:00

3月21日 09:00～16:00

3月22日 09:00～13:30

※参加費は、会期中に受付にて忘れずにご納付ください。

※参加費用支払い時に渡される領収書は、再発行はできませんので、大切に保管してください。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

※懇親会に参加される方は、隣の懇親会専用の受付にて懇親会の参加費をお支払いください。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は9会場で行います。口頭講演(添字 a)は、口頭発表9分、質疑応答3分です。ポスター講演(添字 b)は、口頭発表3分、3講演で12分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字 b)、(添字 c)は、3月19日の12:00から3月22日の13:30までポスター会場の指定された場所に掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。ポスターサイズは縦180cm×横90cmです。
3. 講演には液晶プロジェクターをご使用ください。液晶プロジェクターは、セッション開始前にPCの接続を確認してください。講演時間は、直前の講演者が降壇した時点から計り始めます。迅速に講演が始められるよう、次の講演者は前の講演中にPCを接続しておいてください。

## ◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
3月19日 (水)	15:15 ~ 16:45	A 会場	TMT 特別セッション
	17:00 ~ 18:30	A 会場	ALMA 特別セッション
3月20日 (木)	15:30 ~ 16:30	A 会場	会員全体集会
	16:30 ~ 18:00	A 会場	受賞記念講演
3月21日 (金)	15:30 ~ 17:00	A 会場	天文教育フォーラム
	17:30 ~	大学食堂	懇親会
3月23日 (日)	13:00 ~ 17:00	国際基督教大学 D 館オーディトリウム	公開講演会

## ◎会合一覧表

月 日	時 間	会 場	会 合 名	一般参加可否
3月19日 (水)	19:00 ~ 20:00	会議室	理事会	D
3月20日 (木)	11:30 ~ 12:30	C 会場	代議員総会	D
	11:30 ~ 12:30	H 会場	理論天文学宇宙物理学懇談会報告会	C
3月21日 (金)	11:30 ~ 12:30	C 会場	宇宙電波懇談会会合	C
	11:30 ~ 12:30	D 会場	天文・天体物理若手の会総会	C
	11:30 ~ 12:30	F 会場	光学赤外線天文連絡会総会	C
3月22日 (土)	11:30 ~ 12:30	B 会場	日本 SKA コンソーシアム会合	C
	11:30 ~ 12:30	E 会場	女性天文研究者の会	A

※一般参加可否の説明（オープン化の程度）

- A: 誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けのものだが部外者も特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした非公開の会合

## ◎ TMT 特別セッション：

日 時：2014年3月19日（水）15：15～16：45

場 所：A会場

概 要： 国立天文台が次世代の超大型光学赤外線望遠鏡計画として推進している TMT(Thirty Meter Telescope) 計画は、現在、2014年度からの本格建設開始を目指して準備が急ピッチで進められているところです。順調にいくと、今年は、建設開始宣言、TMT 国際天文台の設立、現地工事の開始、日本における本格的な望遠鏡本体構造設計と主鏡製造の開始などが予定されており、大きな節目の年となります。TMT をめぐる国際情勢、望遠鏡建設プラン、観測装置開発の見通し等、天文学会員の関心の高いテーマについて報告し、議論を行います。

プログラム：1. 家正則（国立天文台）「TMT 計画の進捗状況」  
2. 白田知史（国立天文台）「望遠鏡建設計画」  
3. 柏川伸成（国立天文台）「TMT の観測装置開発」

世 話 人：青木和光（国立天文台）

## ◎ ALMA 特別セッション：ALMA アーカイブデータが切り拓く天文学

日 時：2014年3月19日（水）17：00～18：30

場 所：A会場

概 要： ALMA の初期科学運用 (Cycle 0, Cycle 1) や科学評価観測 (Science Verification) では、既に他のミリ波・サブミリ波望遠鏡を遥かに凌ぐ性能が実証されており、銀河系内の星形成領域、近傍銀河、さらには遠方銀河の輝線観測の成果が続々と発表されています。科学運用で観測されたデータは、1年の占有期間を経た後、ALMA アーカイブデータとして全世界に公開され、誰もが自由にダウンロードできるようになります。ALMA データを用いた論文は約 80 編出版されていますが、そのうちの約 4 割が ALMA アーカイブデータを用いた科学成果であり、アーカイブには魅力的なデータが多く眠っていることは明らかです。本特別セッションでは、この「宝の山」である ALMA アーカイブに焦点をあて、アーカイブデータを使ったケーススタディーを紹介し、現在整備されているツールや具体的な手順などを解説する予定です。

プログラム：1. はじめに：林 正彦（国立天文台）  
2. ALMA アーカイブを使ったサイエンス  
a. 銀河形成：長尾 透（愛媛大学）  
b. 星形成：廣田朋也（国立天文台）  
3. ALMA アーカイブを使うために：Erik Muller（国立天文台）

世 話 人：松田有一（国立天文台）

## ◎天文教育フォーラム

後援：日本学術会議物理学委員会 IAU 分科会

テ ー マ：社会は天文学になにを期待しているのか？

日 時：2014年3月21日（金）15：30～17：00

場 所：A会場

概 要：天文学は人類の知的欲望に応えるものであり、学校教育や生涯学習など教育普及活動を通じて人々の精神的な豊かさに貢献すると同時に、新しい技術開発など実用的な面でも社会に対して貢献を行っている、というのは天文学コミュニティの中では広く共有されている認識であると思われます。昨年春の天文教育フォーラムでも、「天文学は社会をリードできるか？」というテーマで議論を行いました。概ね上記のような結論になったと思います。

しかしながら、上記のような主張は、天文学に携わる立場の人間の自己認識であって、天文学分野の外から見た時に、同じように見えるかはわかりません。天文学分野の自己認識と、社会からの認識は、はたして一致しているのでしょうか？私たちは、裸の王様だったりしないのでしょうか？あるいは、私たちが認識できていない新しい観点があたりしないのでしょうか？

今回の天文教育フォーラムでは、社会の第一線で活躍されている天文学分野外の方々をゲストにお招きし、どのような観点から天文学が役立っていると考えているのか意見をうかがい、天文学と社会の関係を考える機会のひとつにしたいと考えています。

プログラム：＜話題提供＞

齊藤卓也氏（文部科学省科学技術改革タスクフォース戦略室 室長）

仲川薫氏（株式会社リクルートジョブズ 執行役員）

横山禎徳氏（東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム企画推進責任者 / 三井住友銀行社  
外取締役 / 社会システム・アーキテクト）

参 加 費：天文教育フォーラムのみの参加者は、年会参加費は不要です。天文学会年会受付で、その旨お伝えください。

世 話 人：高梨直紘（東京大学）、菊川真以（つくばエキスポセンター）塚田健（平塚市博物館）、大山真満（滋賀大学）、安藤享平（郡山市ふれあい科学館）

## ◎ TMT 展示ブース : TMT 望遠鏡望遠鏡模型

日 時 : 天文学会期間内

場 所 : 本館 2F

概 要 : 国立天文台は次世代の超大型光学赤外線望遠鏡計画として TMT(Thirty Meter Telescope) 計画を国際協力で推進しています。2014 年度からの本格建設開始をめざし、現在、望遠鏡本体の基本設計や主鏡製作、国際協議などが進められています。

多くの方に TMT の全体像をイメージしていただくために、100分の1の稼働模型を製作しました。日本が製作を担当する予定である望遠鏡本体構造のほか、独特な形状のドーム構造についても動きをみてとることができる模型です。ぜひお立ち寄りください。

世 話 人 : 青木和光 (国立天文台・TMT 推進室) TEL 0422-34-3524

家 正則 (国立天文台・TMT 推進室) TEL 0422-34-3520

山下卓也 (国立天文台・TMT 推進室) TEL 0422-34-3786

## ◎日本天文学会公開講演会

テ ー マ : 「人は宇宙に何をみてきたのか」

日 時 : 2014 年 3 月 23 日 (日) 13 時 ~ 17 時 (開場 : 12 時 30 分)

場 所 : 国際基督教大学  
ディッフENDORF 記念館東棟 オーディトリウム (J 会場)

対 象 : 概ね中学生以上の方を対象とした内容ですが、どなたでも御来聴ください。

概 要 : 地球に生を受けた私達人間は、古より天空を見つめ、豊かな時代も不安な時代も天文学という学問を絶やすことはなかった。一体、人間は宇宙に何を求めてきたのだろうか。宇宙を見つめる眼差しは時代と共に変遷しても、私達はそこに何かを見出し、次の世代へと探求心は受け継がれてきた。この講演会では、過去・現在、そして未来の人間が向き合う宇宙の姿を、3 名の講師に論じていただく。国立天文台を臨み、古くから天文学に親しみのある三鷹というこの地で、リベラルアーツに根ざす学際的なキャンパスの中、時空を超えた人間と宇宙との関わりに思いを巡らせるひとときを持ちたい。

内 容 : 講演 1 : 古の人々の眼差し — 「天文学は『役立つ』学問だった」

村上陽一郎氏 (東洋英和女学院大学学長、東京大学名誉教授、国際基督教大学名誉教授)

講演 2 : 現代の私達の眼差し — 「宇宙は何でできているのか」

村山齊氏 (東京大学カブリ数物連携宇宙研究機構機構長、カリフォルニア大学バークレイ校  
マックアダムス冠教授、ローレンス・バークレイ国立研究所上級研究員)

講演 3 : 未来へ向けた眼差し — 「新たな宇宙像を切り拓く天文観測 ~ 超大型望遠鏡 TMT の挑戦」

青木和光氏 (自然科学研究機構国立天文台 TMT 推進室 准教授)

申 込 : 入場無料で、事前の参加申込も不要です。ただし、会場定員 400 名を超える場合は、先着順とさせていただきます。

そ の 他 : 自家用車でのご来場はご遠慮ください。また、オーディトリウム内では飲食は禁止されています。



## 春季年会会場 国際基督教大学 (ICU) キャンパスのご案内

◆ **交通アクセス:** 最寄り駅の JR 中央線武蔵境駅(所要:東京駅より快速 35 分)あるいは三鷹駅(東京駅より快速 33 分, 特快 28 分)から大学構内へのバスがご利用いただけます。

- ▶ 武蔵境駅南口より: 小田急バス「境 93 国際基督教大学」行にて終点下車(所要 12 分)。
- ▶ 三鷹駅南口より: 小田急バス「鷹 51 国際基督教大学」行にて終点下車(所要 20 分)。
- ▶ 京王線調布駅北口より: 小田急バス「境 91 武蔵境駅南口」行または「鷹 51 三鷹駅 (西野御塔坂下経由)」行にて「富士重工前」で下車(所要 20 分), 徒歩 10 分。
- ▶ その他: 西武鉄道多摩川線 新小金井駅からも徒歩 15 分程度です。自転車であ来校される場合は, キャンパスマップの駐輪所をご利用ください。タクシーは武蔵境駅南口から構内バス停のロータリーまで所要 10 分(1000 円程度)です。自家用車での来校はご遠慮ください。

### ◆ キャンパスマップ

ICU 高校正門  
至 新小金井駅 (750m)

北門

国際基督教大学 (終点)  
行先 境 93: 武蔵境駅南口  
鷹 51: 三鷹駅

至 正門 (450m)

東八道路

南門

至 国立天文台 (600m)

[凡例]  
▶ 建物入口  
🚏 バス停  
ATM ATM  
📮 郵便局  
🚲 駐輪所

1 理学館  
A 会場, 会議室

2 本館  
受付, B-I 会場,  
ポスター会場

3 D 館西棟  
売店, 喫煙所 (2F)

4 D 館東棟  
オーデトリウム:  
J 会場, 公開講演会

5 ダイアログハウス  
1F 大学食堂, 懇親会

国際基督教大学 バス時刻表

境93 武蔵境駅南口行					鷹51 三鷹駅行						
平日 (3/19, 20)					平日 (3/19, 20)						
15	06	20	36	54	15	5	25	40			
16	12	24	36	48	16	0	8	23	44		
17	00	12	22	35	51	17	0	16	26	42	58
18	04	21	33	51	18	5	28	51			
19	04	19	33	19	12	26	42				
20	01	29	58	20	8	24	42				
土・日・祝日 (3/21, 22, 23)					土・日・祝日 (3/21, 22, 23)						
15	19	36	48	15	2	12	31	37			
16	00	18	28	47	58	16	0	14	23	35	
17	16	36	56	17	4	27	35	58			
18	25	54	18	14	38	52	59				
19	24	53	19	12	31	50					
20	22	54	20	11							

国際基督教大学入口

正門

調布

富士重工前

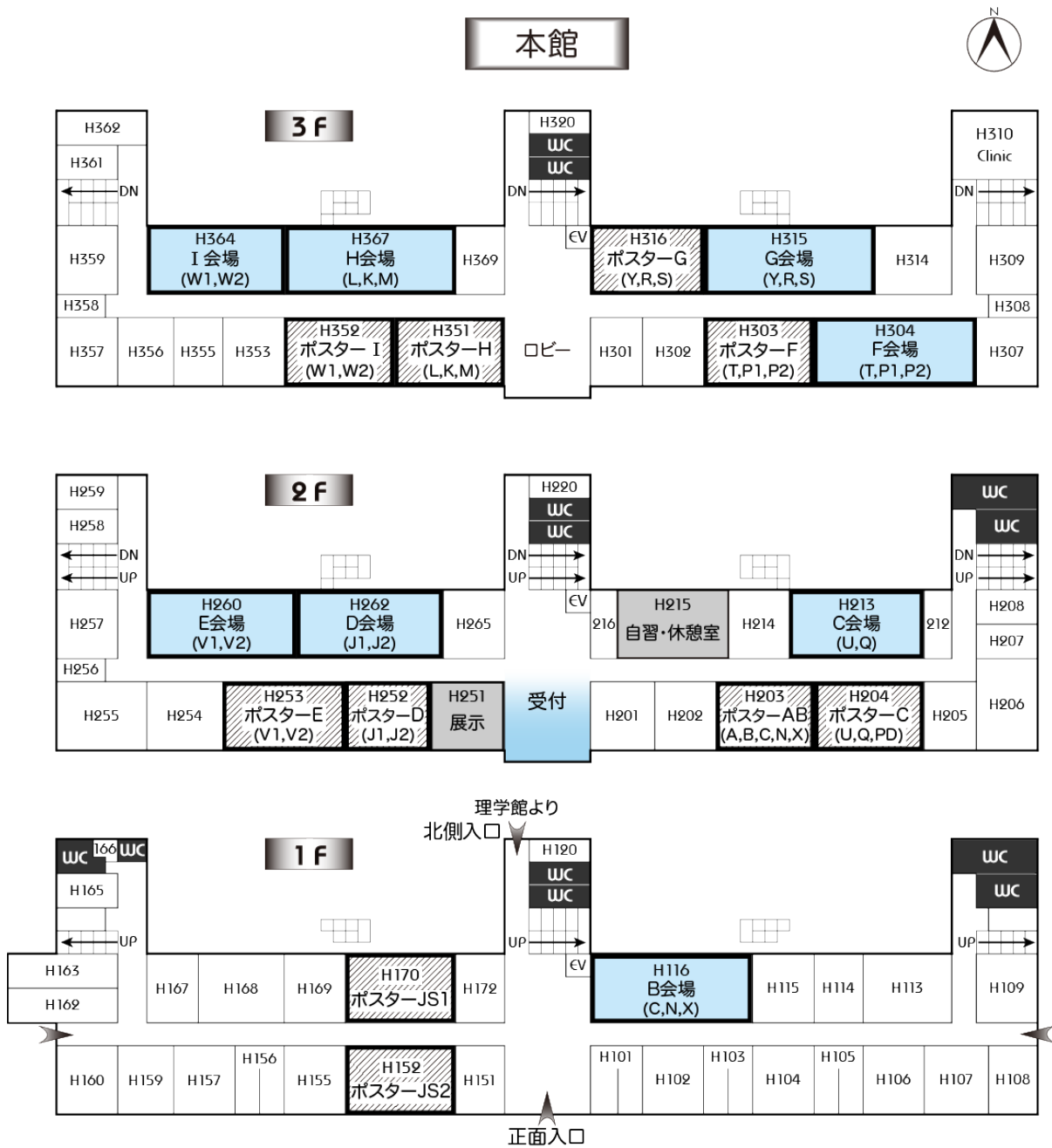
武蔵境



## 会場案内図

### ◆ 本館（受付、B~I 会場、ポスター会場、展示）

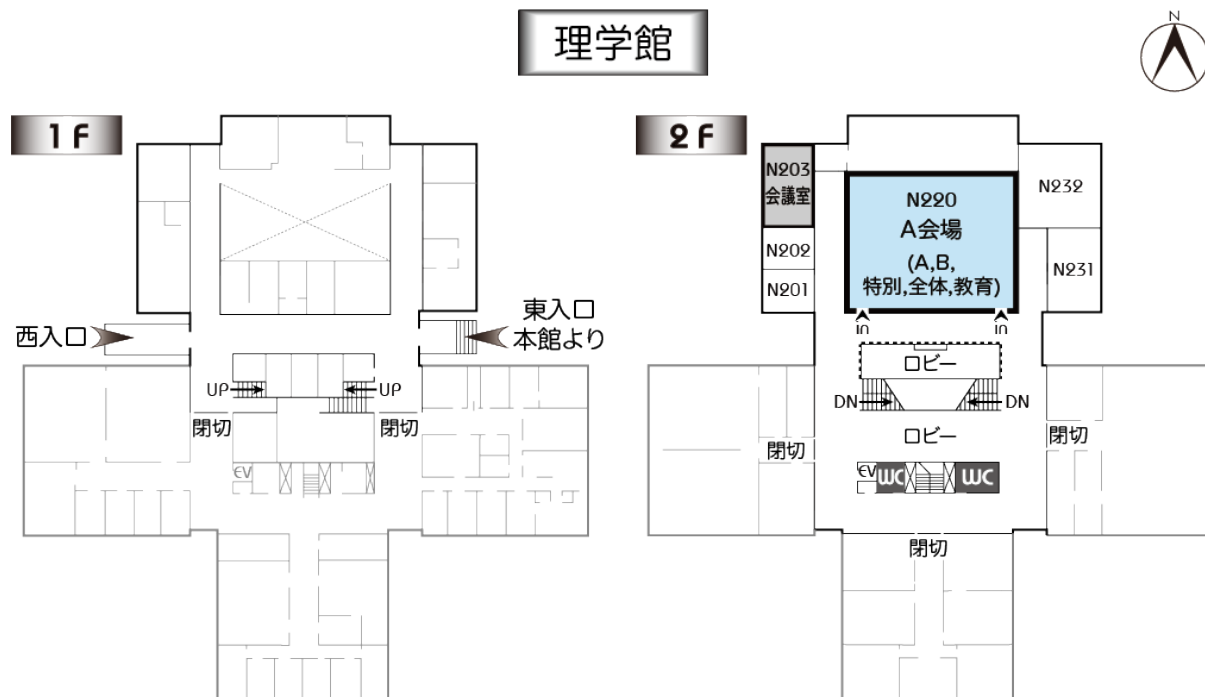
大学構内のバス停より徒歩5分。目の前に芝生の丘が広がります。受付は2階です。  
本館からA会場(理学館)へは北側入口から100m程度です。



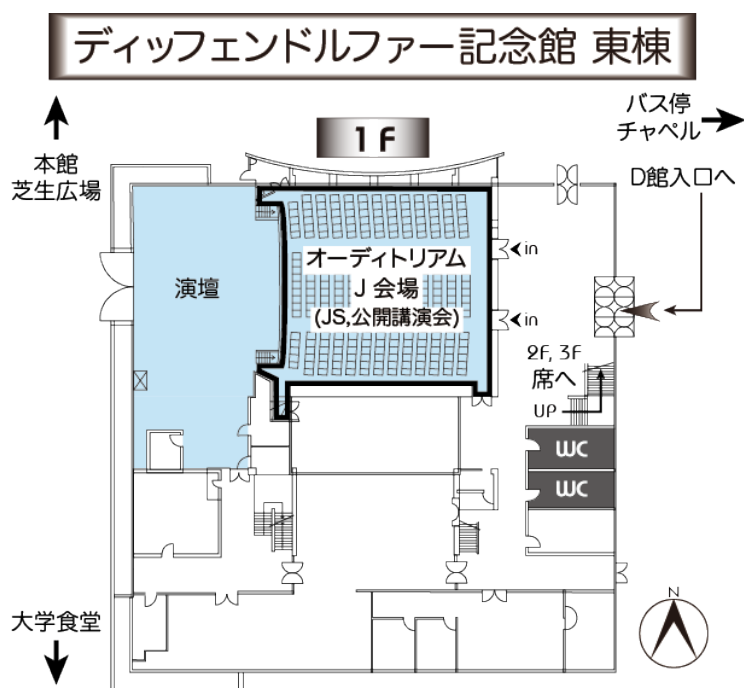
\* 各会場の（ ）内は分野記号

### ◆ 理学館（A会場，会議室）

本館北側入口から理学館東入口まで 100m 程です。東入口に入って左手の階段より 2 階に上がると A 会場，会議室があります。ロビーは休憩所としてご利用ください。「閉切」の表示の先は研究室エリアですので立ち入りをご遠慮ください。また理学館内はトイレの数が少ないため、できるだけ本館のトイレをご利用ください。



### ◆ ディッフェンドルファー記念館（D館）東棟（J会場，公開講演会）



D 館東棟は芝生広場側より入ります。チャペルとの間にあるパーゴラをくぐると、右手に入口があります。オーディトリウムには 2 階席（入口は 2 階と 3 階）もあります。オーディトリウム内では、飲食、及び濡れた傘の持ち込みはご遠慮ください。

\* 各会場の（ ）内は分野記号

## 口頭セッション 3月19日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【r&GW】	【天文学史】	【宇宙論】	【高密度星】	【地上観】	【銀河団】	【教育・他】	【太陽系】	【飛翔観】
13:00	A01r S A07b	C01r S C08a	U01a	J101a	V101a	T01a	Y01a	L01a	W201a
13:12			U02a	J102a	V102a	T02a	Y02a	L02a	W202a
13:24			U04a	J103a	V103a	T03a	Y04a	L03a	W203a
13:36			U05a	J104a	V104a	T04a	Y05b Y06b Y07b	L04a	W205a
13:48			U06a	J105a	V105a	T05a	Y08a	L05a	W206a
14:00			U08a	J106a	V106a	T06a	Y09a	L06a	W207b W208b W209b
14:12			U09a	J107a	V107a	T07a	Y10a	L07a	W210a
14:24			U12a	J108b J109b J110b	V108a	T08b T09b	Y12a	L10a	W211a
14:36			U13a	J112b J113b J114b	V109b V110b V111b	-	Y14a	L11a	W212a
14:48			U14b	J115b J116b	V112a	-	Y15a	L12b L13b L14b	W213a
15:00	-	-	-	-	-	-	L15b	W214b W215b	
15:15	TMT 特別セッション (A会場)								
17:00	ALMA 特別セッション (A会場)								
19:00	理事会 (会議室)								

## 口頭セッション 3月20日(木)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【r&GW】	【天文学史】	【宇宙論】	【高密度星】	【地上観】	【星・惑星】	【教育・他/ 銀河】	【超新星爆発】	【飛翔観】
09:30	A08r ∩ A14a	C09b ∩ C21a	U16a	J120a	V113a	P201a	Y16a	K01a	W216a
09:42			U17a	J121a	V116a	P202a	Y17b Y18b Y20b	K02a	W217a
09:54			U18a	J122a	V117a	P203a	Y21a	K03a	W218a
10:06			U19a	J201a	V118a	P204a	Y23a	K04a	W219a
10:18			U20a	J123a	V119a	P205a	Y24b Y25b Y26b	K05a	W220a
10:30			U21a	J124a	V121a	P206a	Y27b Y30b	K07a	W221a
10:42			U22a	J126a	V122a	P207a	R01a	K08a	W222a
10:54			U25a	J127a	V123a	P208a	R02a	K09b K10b	W223b W224b W226b
11:06			-	J128a	V124b V125b V126b	P209b P210b P211b	R03a	-	W227b W228b W229b
11:18			-	J202a	V127b V128b V129b	P212b P213b P214b	R04b	-	W230a
11:30	昼休み(代議員総会)(C会場)								
12:30	ポスター								
開始時刻	【r&GW】	【恒星】	【星間現象】	【高密度星】	【地上観】	【星・惑星】	【銀河】	【太陽】	【飛翔観】
13:30	A15r ∩ A23a	N01a	Q01a	J129a	V130a	P215a	R05a	M01a	W231a
13:42		N02a	Q02a	J130a	V131b V132b V133b	P216a	R06a	M02a	W232b W233b W235b
13:54		N03a	Q03a	J131a	V134a	P217a	R07a	M03a	W236a
14:06		N04a	Q04a	J132a	V135a	P220a	R08a	M04b M05b M06b	W237a
14:18		N05a	Q05a	J133a	V136a	P221a	R09a	M09a	W238b W240b W242b
14:30		N06a	Q06a	J134a	V137b V138b V139b	P222a	R11a	M10a	W101a
14:42		N07a	Q07a	J135a	V140b	P223a	R12a	M11a	W102b W103b W105b
14:54		N08b N09b N10b	Q08a	J136a	V201a	P224a	R14a	M12a	W106a
15:06		N11a	Q09a	J137a	V202a	P225a	R15b R16b R17b	M13a	W107a
15:18		N12a	Q10a	J138a	V203a	P226b P227b P228b	R18a	M14b M15b M16b	W108b W109b W110b
15:30	-	-	-	-	-	-	-	-	W111b
15:30	会員全体集会(A会場)								
16:30	受賞記念講演(A会場)								

## 口頭セッション 3月21日(金)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【ALMA】	【恒星】	【星間現象】	【高密度星】	【地上観】	【星・惑星】	【銀河】	【太陽】	【飛翔観】
09:30	B01a S B07a	N13a	Q11a	J139a	V204a	P229a	R19a	M17a	W112a
09:42		N14a	Q12a	J140a	V205a	P230a	R20a	M18a	W113a
09:54		N15a	Q13a	J141a	V206b V207b V208b	P231a	R21a	M19a	W114a
10:06		N16a	Q14a	J142a	V209b V210b V211b	P232a	R22a	M20a	W115a
10:18		N17a	Q15a	J143a	V212a	P233a	R23a	M21a	W116a
10:30		N18a	Q16a	J144a	V214a	P234a	R24a	M22a	W117a
10:42		N19a	Q17a	J145a	V215a	P235a	R25a	M23a	W118b W119b W120b
10:54		N20a	Q18a	J146a	V216a	P101b P102b P103b	R26a	M24b M26b M28b	W121a
11:06		N21a	Q19a	J203b J204b J205b	V217b V218b V219b	P104b P105b	R27a	M29b M30b M31b	W122a
11:18		N22a	Q20b Q21b	J208b	V220a	-	-	M32b M33b	W123a
11:30	-	N23a	-	-	-	-	-	-	
11:42	-	N24b	-	-	-	-	-	-	
11:30	昼休み								
12:30	ポスター								
開始時刻	【ALMA】	【銀河形成】	【星間現象】	【高密度星】	【地上観】	【星・惑星】	【活動銀河核】	【太陽】	【飛翔観】
13:30	B08r S B13a	X01a	Q22a	J209a	V222a	P108a	S01a	M35a	W124a
13:42		X02b X03b X04b	Q23a	J210a	V223a	P109a	S02a	M36a	W125a
13:54		X05a	Q24a	J211a	V224a	P110a	S03a	M37a	W126a
14:06		X06a	Q25a	J212a	V225a	P111a	S04a	M38a	W127a
14:18		X07a	Q26a	J213a	V226a	P112a	S05a	M39a	W128a
14:30		X08a	Q27a	J214a	V227a	P113b P114b P115b	S06a	M40a	W129a
14:42		X09a	Q28a	-	V228a	P116a	S07a	M41a	W130a
14:54		X10b X11b X12b	Q29a	-	V229a	P117a	S08b S09b S10b	M42a	W131a
15:06		X13b X14b X15b	-	-	V230b V231b V232b	P118a	S11b S12b S13b	M43a	W132a
15:18		X16b X17b	-	-	V233a	P119b P120b P121b	S17b S18b S19b	M44a	W133a
15:30	-	-	-	-	V234b	P122b P123b P124b	-	-	
15:30	天文教育フォーラム (A会場)								
17:30	懇親会 (ダイアログハウス 1F 大学食堂)								

## 口頭セッション 3月22日(土)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場
開始時刻	【ALMA】	【銀河形成】	【星間現象】	【高密度星】	【地上観】	【星・惑星】	【活動銀河核】	【太陽】	【飛翔観】
09:30	B14r ) B21a	X18a	Q31a	J215a	V236a	P125a	S21a	M45a	W134a
09:42		X19a	Q32a	J216a	V237a	P126a	S22a	M46a	W135a
09:54		X20a	Q33a	J217a	V239a	P127a	S23a	M47a	W136a
10:06		X21a	Q34a	J218a	V240a	P1258a	S24a	M48a	W137a
10:18		X22a	Q35a	J219a	V241a	P129a	S25a	M49a	W138a
10:30		X23a	Q36a	J220a	V242a	P130a	S26a	M50a	W139a
10:42		X25a	Q37a	J221a	V243b V244b	P131a	S27a	M51a	W140a
10:54		X26a	Q38a	J222a	-	P132a	S28a	M53a	W141a
11:06		X27a	Q39a	J223a	-	P133a	S29a	M54a	W142a
11:18		X28a	Q40a	J224a	-	P134a	S30a	M55a	W143a
11:30	-	-	Q41a	J225a	-	P135a	-	-	-
11:42	-	-	Q42b Q43b Q44b	J226a	-	-	-	-	-
11:54	-	-	Q45b	-	-	-	-	-	-
11:30	昼休み								
12:30	ポスター								
開始時刻	-	【銀河形成】	-	-	-	-	【活動銀河核】	【太陽】	【飛翔観】
13:30	-	X29a	-	-	-	-	S31a	M56a	W146a
13:42	-	X30a	-	-	-	-	S32a	M57a	W147a
13:54	-	X31a	-	-	-	-	S33a	M59a	W148a
14:06	-	X32a	-	-	-	-	S34a	M60a	W149a
14:18	-	X33a	-	-	-	-	S35a	M61a	W150a
14:30	-	X34a	-	-	-	-	S36a	M62a	W151a
14:42	-	X35a	-	-	-	-	S37a	-	W152a
14:54	-	X36a	-	-	-	-	S38a	-	W153a
15:06	-	X37a	-	-	-	-	S39a	-	-



ポスターセッション 3月20日(木) ~ 3月22日(土)

ポスター会場 JS1

ジュニアセッション

ポスター会場 JS2

ジュニアセッション

ポスター会場 AB

【A. r&GW】(1)

A07b

【C. 天文学史】(12)

C09b C10b C11b C12b C13b

C14b C15b C16b C22c C23c

C24c C25c

【N. 恒星】(4)

N08b N09b N10b N24b

【X. 銀河形成】(12)

X02b X03b X04b X10b X11b

X12b X13b X14b X15b X16b

X17b X24c

ポスター会場 C

【U. 宇宙論】(8)

U03c U07c U10c U11c U14b

U15c U23c U24c

【Q. 星間現象】(10)

Q20b Q21b Q30c Q42b Q43b

Q44b Q45b Q46c Q47c Q48c

ポスター会場 D

【J1. 高密度星】(13)

J108b J109b J110b J111c J112b

J113b J114b J115b J116b J117c

J118c J119c J125c

【J2. 高密度星】(6)

J203b J204b J205b J206c J207c

J208b

ポスター会場 E

【V1. 地上観測機器】(20)

V109b V110b V111b V114c V115c

V120c V124b V125b V126b V127b

V128b V129b V131b V132b V133b

V137b V138b V139b V140b V141c

【V2. 地上観測機器】(19)

V206b V207b V208b V209b V210b

V211b V213c V217b V218b V219b

V221c V230b V231b V232b V234b

V235c V238c V243b V244b

展示

アキリスジャパン (株)

Exelis VIS (株)

(株) オハラ

(株) Cambridge University Press Japan

富士通 (株)

TMT 推進室

ポスターセッション 3月20日(木) ~ 3月22日(土)

ポスター会場 F

【T. 銀河団】(2)

T08b T09b

【P1. 星・惑星】(16)

P101b P102b P103b P104b P105b

P106c P107c P113b P114b P115b

P119b P120b P121b P122b P123b

P124b

【P2. 星・惑星】(11)

P209b P210b P211b P212b P213b

P214b P218c P219c P226b P227b

P228b

ポスター会場 G

【Y. 天文教育・他】(19)

Y03c Y05b Y06b Y07b Y11c

Y13c Y17b Y18b Y19c Y20b

Y22c Y24b Y25b Y26b Y27b

Y28c Y29c Y30b Y31c

【R. 銀河】(6)

R04b R10c R13c R15b R16b

R17b

【S. 活動銀河核】(13)

S08b S09b S10b S11b S12b

S13b S14c S15c S16c S17b

S18b S19b S20c

ポスター会場 H

【L. 太陽系】(7)

L08c L09c L12b L13b L14b

L15b L16c

【K. 超新星爆発】(4)

K06c K09b K10b K11c

【M. 太陽】(21)

M04b M05b M06b M07c M08c

M14b M15b M16b M24b M25c

M26b M27c M28b M29b M30b

M31b M32b M33b M34c M52c

M58c

ポスター会場 I

【W1. 飛翔体観測機器】(13)

W102b W103b W104c W105b W108b

W109b W110b W111b W118b W119b

W120b W144c W145c

【W2. 飛翔体観測機器】(23)

W204c W207b W208b W209b W214b

W215b W223b W224b W225c W226b

W227b W228b W229b W232b W233b

W234c W235b W238b W239c W240b

W241c W242b W243c